



第4回すくわくプログラム

今月のテーマは「布に描いて、にじませる」

しおどめ保育園稲城では、東京都の「すくわくプログラム」を通して、子どもたちが創造力をのびのびと発揮できる活動を続けています。9月のテーマは「白い布に油性ペンで絵を描き、エタノールを垂らしてにじませる」でした。



TOPICS-1 4歳児

最初に油性ペンで好きな模様を描き始めると、「お花にしよう!」「カラフルな虹だよ」と、子どもたちのアイデアが広がっていきます。次にスポイトでエタノールを落とすと、じわじわと色がにじみ、模様が変化。「わあ、広がった!」「雪みたいにふわとなった!」と歓声があがりました。にじみの様子をじっと観察したり、「こっちにも垂らしたらどうなるかな?」と試してみたり、科学実験のような発見の時間。布いっぱい広がる色彩はどれも世界にひとつだけの作品になり、「またやりたい!」の聲がたくさん聞かれました。



講師の説明に興味津々



油性ペンで描いた絵の線と色が、にじむことで優しくぼやけていく様子に見入る子どもたち



下絵も上手くなったね



布の一角からにじみ始めた色が他に広がり、「わあ～」の聲が上がる場面



出来上がった布を広げて、「ここがにじんでいいよね」「この色がきれい」など言いながら完成した作品

TOPICS-2 5歳児

真っ白な布に油性ペンで絵を描き、エタノールをスポイトで垂らすと、色がじんわりと広がります。5歳児クラスの子どもたちは、「どうなるんだろう？」と興味津々。にじむ色の変化に「花火みたい！」「雨のあとみたい！」と、次々に声があがりました。自分で考え、友だちと見せ合いながら、偶然が生み出す模様の面白さを感じた子どもたち。科学とアートが融合した、五感で楽しむ時間になりました。

